

令和2年11月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	6	議席 番号	14	氏名	佐野和彦 議員	1/2
発言項目				要 旨		答弁者
1	同調圧力と正常な判断			<p>中国の武漢で新型コロナウイルス感染症からくる肺炎の発症が確認されてから、1年が経とうとしている。相変わらず過剰な表現のメディアが多い中、ようやく事実を伝えようとするテレビ番組も出てきたが、これまでの知識と経験がどのように生かされているのか甚だ疑問に思う。世の中は比較的冷静な面も出てきているが、感染拡大が始まった当初から、事実をしっかりと認識し正しい対処をすることとはどのようなことか以下伺う。</p> <p>(1) 冬を迎え、再び全国的に感染症患者が増えてきているが、我が富士宮市の対応はどのようになっているのか。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症対策の一環でPCR検査場が富士宮市医師会の協力もあり設置できたが、今後の課題と展開を伺う。</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症の発症確認には、かかりつけ医の判断や臨時の検査場が重要となっているが、今後に向け医師会との話し合いはどのようになっているのか。</p> <p>(4) マスク着用時の過度な人的距離（ソーシャルディスタンスなど）の対応について、どのように是正していくのか伺う。</p> <p>(5) 海外の事例を、富士宮市の現状と結びつけるのは甚だ疑問だが、市独自の判断基準はこの1年を通しどのように変わったか。</p>		市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長
2	農協の合併及び農業政策			<p>全国的に農協の再編成が進む中、静岡県東部地区の8つの農協の合併が決まり、来年の2月には調印式が行われる。これにより、経営資源を寄せ合い、ゆるぎない経営基盤を確立し、農家組合員の農業所得の向上と良質なサービスの提供を通じて地域社会に貢献し続ける農協となるためと考えられる。</p> <p>来年度以降、富士宮市の農協ではなくなり、東部地区の農協として再出発するが、我が富士宮市としても、これからの農業政策にどのように影響していくのか、今後の対応を伺う。</p> <p>(1) 農協の合併で、市の政策にどのような影響があるか。</p> <p>(2) 今後、富士宮市の農業施策により、どのような協力体制が考えられるのか。</p> <p>(3) 耕作放棄地対策は、市や県、そして国が一体となり進めていくべきと考える。今後も農協を通じ協力を求め、耕作地の拡大を推し進める必要があり、合同の会議を定期的に行き、情報を共有する必要があると考えるが、いかがか。</p>		市 長 副 市 長 関 係 部 長
3	ごみの減量化と助燃材について			<p>令和3年度で富士宮市一般廃棄物処理基本計画が終了する。次期計画には、現計画の反省点や、目指すべき将来像が盛り込まれると思うが、高齢化が進む世の中で、分別などあまり細かくなり過ぎると市民の負担が大きくなり、不法投棄などの恐れが心配される。また、廃プラスチックやペットボトルなどは可燃ごみと一緒に燃やすことで助燃材としての役割を担い、省燃料化にもつながると考えるが、以下伺う。</p> <p>(1) ごみの分別をどこまで進めるのか。</p> <p>(2) 決算審査特別委員会での市長答弁で可燃ごみと一緒に助燃材としてペットボトルを燃やす取組について検討するとあったが、進捗状況について伺う。</p>		市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長

発言 順序	6	議席 番号	14	氏名	佐野和彦 議員	2/2
発言項目		要 旨				答弁者
		(3) 富士市の新環境クリーンセンターができ、事業者のごみ処理料の値上げに伴い、我が富士宮市の清掃センターに持ち込まれる懸念があるが、対応はいかにしていくのか。 (4) 次期計画策定にあたり、将来の富士宮市のごみ処理をどのように考えているのか伺う。				